



# ゲバード®

## エアー粒剤

### 散布マニュアル



多年生雑草に強い!  
「アルテア」増量配合\*

※アルテアはメタソスルフロン愛称です。 \*当社「アルテア」配合一発剤との比較。 ®は登録商標

# あのゲパードが、ドローンで撒ける！ 「エアー粒剤」ついに登場！

ホタルイ、ノビエ、クログワイ、オモダカ……。  
問題雑草の取りこぼしも、難なく一掃！  
プレミアム中後期除草剤ゲパードから、  
ドローン向け「エアー粒剤」がついに登場！

- ミズアオイ、クサネム、コナギ、イボクサなどの  
主要雑草もしっかり枯らします。



登録番号：第24220号  
有効成分：ダイムロン …… 25.0%  
ピラクロニル …… 5.0%  
ベンゾピシクロン… 5.0%  
メタゾスルフロン… 3.0%  
容 量：1.2kg入(30アール分)

水稲用 中後期除草剤

# ゲパード® エアー粒剤

## 特長

- 除草成分「アルテア」\*を増量配合\*！殺草力がアップ。
- 枯れ残って大きくなってしまった雑草もしっかり枯らします。
- ドローン散布に適した自己拡散型の製剤です。
  - ・幅30mまでは圃場の中央に散布するだけで拡がるので作業時間を短縮できます。
  - ・ラフに撒いても拡がるので飛行ルートを気にする必要ありません。



多年生雑草に強い！  
「アルテア」増量配合\*



# ドローンによる散布法

● 圃場周辺への飛散防止と薬剤を十分拡散させるために、以下の条件を守って散布してください。

## 〈散布条件〉

飛行高度：2～3m  
風速：3m/秒以下  
畦畔からの距離：10m以上  
水深：5cm以上

## 〈散布幅〉

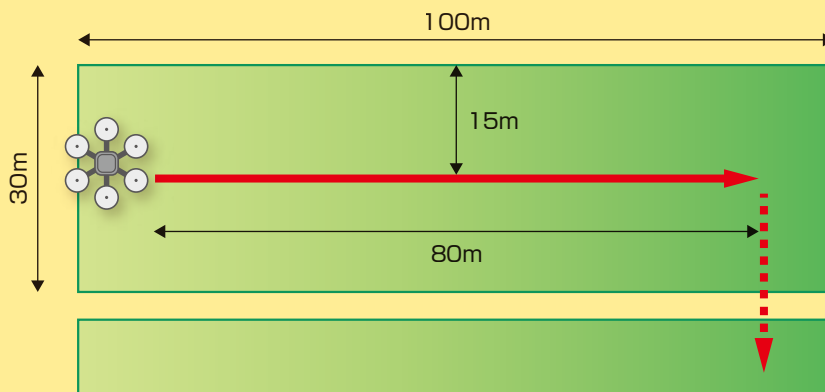
30m以下\*  
(片側15mまで拡散します)

\*藻、浮草、表層剥離が発生している場合は適宜、散布幅を狭めてください。

## ● 推奨散布方法

機体	散布装置	飛行速度	インペラ回転数	開度 (ポリウム)	吐出時間 秒/10a	散布距離 m/10a	散布幅	30×100m圃場の飛行ルート
AGRAS T10 AGRAS T25 AGRAS T30	GS110(T) GS440(T)	15km/時	600 rpm	23.6%	6.4	26.7	30m以下 (片側15m以下)	圃場中央 片道1回(80m)
MG-1 MG-1K T-20 T-20K	GS110 GS110K GS220 GS220K			41%	19.2	80.0		圃場中央 1.5往復(240m)
AC101connect AC102	AC101 P13		遅	59%	12.8	53.3		圃場中央 1往復(160m)
YMR-08 YMR-II	GR1-10 標準ローラー		固定	100	25.9	108		圃場中央 2往復+4m(324m)
	GR1-10 ひし形ローラー			57	19.2	80		圃場中央 1.5往復(240m)
ZionAC940 MMC940AC ZionAC1500 MMC1500AC	ZIN700P ZIN1400G	5.0	27.3	113.7	圃場中央 2往復+21m(341m)			

## ● 飛行ルートの例 例)30aの圃場(30×100m)を中央片道散布する場合



薬剤は15mまで拡散しますので、幅30mの圃場であれば中央片道散布が可能です。1往復以上の飛行で散布する場合は中央散布以外でも問題はありませんので、隣接田を続けて散布する場合などは適宜散布幅を調整してご使用ください。

## ● 散布距離と飛行速度から吐出量を調整する場合

### ① 吐出量を決める

1分当たり、何gの薬剤を吐出させるかを以下の手順で求めます。

$$\text{吐出量 (g/分)} = \frac{\text{処理量 (g)}}{\text{散布距離 (m)}} \times \text{飛行速度 (m/分)}^{\#}$$

#10、15、20km/時=167、250、333m/分

例) 40a圃場(40×100m)を15km/時で散布する場合

1往復・・・吐出量=1,600g÷160m×250m/分=2,500g/分  
1.5往復・・・吐出量=1,600g÷240m×250m/分=1,666g/分  
2往復・・・吐出量=1,600g÷320m×250m/分=1,250g/分  
2.5往復・・・吐出量=1,600g÷400m×250m/分=1,000g/分  
3往復・・・吐出量=1,600g÷480m×250m/分=833g/分

### ② シャッター開度を調整する

①で決めた吐出量に合わせたシャッター開度に調整します。各散布装置の吐出量目安表を参考に調整してください。なお、往復回数は少ない方が効率的ですが、各散布装置には

吐出量の上限があるので、吐出目安表に希望する吐出量がなければ、往復回数を増やすことで吐出量を減らして開度を決めてください。

# 吐出量目安表と散布例 ※「目安表」ですので、必ず試し撒きを行った上で、調整してください。

機 体 ; ■ AGRAS T10, T25, T30  
 散布装置 ; ■ GS110(T), GS440(T) (DJI)

最大積載量 ● GS110(T) : 1.2ha分

開度	吐出量g/分	面積換算a/分	開度	吐出量g/分	面積換算a/分
17.5%	2,141	53.5	23.0%	3,563	89.1
18.0%	2,263	56.6	23.5%	3,701	92.5
18.5%	2,386	59.7	24.0%	3,841	96.0
19.0%	2,511	62.8	24.5%	3,982	99.5
19.5%	2,638	65.9	25.0%	4,124	103.1
20.0%	2,766	69.1	25.5%	4,268	106.7
20.5%	2,895	72.4	26.0%	4,413	110.3
21.0%	3,026	75.6	26.5%	4,560	114.0
21.5%	3,158	79.0	27.0%	4,708	117.7
22.0%	3,292	82.3	27.5%	4,858	121.4
22.5%	3,427	85.7	28.0%	5,009	125.2

**散布例**

40×100m圃場を  
15km/時、1往復で散布  
(散布距離:80m×2=160m)

↓

吐出量=2,500g/分

↓

開度=18.9%  
(2,486g/分)

※投下しすぎないように、希望の吐出量以下になるように設定してください。

※インペラ回転数を600rpmに設定した場合

機 体 ; ■ MG-1, MG-1K, T20, T20K  
 散布装置 ; ■ GS110, GS220 (DJI)  
 ■ GS110K, GS220K (クボタ)

最大積載量 ● GS110 : 1.2ha分

最大積載量 ● GS110K : 1.2ha分

開度	吐出量g/分	面積換算a/分	開度	吐出量g/分	面積換算a/分
25.0%	646	16	36.0%	1,066	27
26.0%	684	17	37.0%	1,104	28
27.0%	723	18	38.0%	1,142	29
28.0%	761	19	39.0%	1,181	30
29.0%	799	20	40.0%	1,219	30
30.0%	837	21	41.0%	1,257	31
31.0%	875	22	42.0%	1,295	32
32.0%	913	23	43.0%	1,333	33
33.0%	952	24	44.0%	1,353	34
34.0%	990	25	45.0%	1,372	34
35.0%	1,028	26	50.0%	1,397	35

**散布例**

40×100m圃場を  
15km/時、2往復で散布  
(散布距離:80m×4=320m)

↓

吐出量=1,250g/分

↓

開度=40.5%  
(1,238g/分)

※投下しすぎないように、希望の吐出量以下になるように設定してください。

※インペラ回転数を600rpmに設定した場合

機 体 ; ■ AC101connect, AC102(NTTイーアドローン)  
 散布装置 ; ■ AC101 P13(NTTイーアドローン)

最大積載量 ● AC101 : 1.4ha分

開度	吐出量g/分	面積換算a/分	開度	吐出量g/分	面積換算a/分
30%	1,075	26.9	60%	1,901	47.5
35%	1,183	29.6	65%	2,064	51.6
40%	1,299	32.5	70%	2,285	57.1
45%	1,426	35.7	75%	2,467	61.7
50%	1,560	39.0	80%	2,658	66.5
55%	1,703	42.6	85%	2,856	71.4

**散布例**

40×100m圃場を  
15km/時、1往復で散布  
(散布距離:80m×2=160m)

↓

吐出量=2,500g/分

↓

開度=75%  
(2,467g/分)

※投下しすぎないように、希望の吐出量以下になるように設定してください。

※インペラ回転数を「遅」に設定した場合

(P3の手順で吐出量を決め、それに合うシャッター開度を決めるのにご使用ください。)

機 体 ; ■ YMR-08, YMR-II  
 散布装置 ; ■ GR1-10 (ヤマハ)

最大積載量 1ha分

□ 丸形ローラー : 標準

ポリウム	吐出量g/分	面積換算a/分
25	396	10
30	431	11
35	466	12
40	501	13
45	537	13
50	572	14
55	607	15
60	642	16
65	677	17
70	713	18
75	748	19
80	783	20
85	818	20
90	854	21
95	889	22
100	924	23

□ ひし形ローラー : オプション

ポリウム	吐出量g/分	面積換算a/分
25	778	19
30	852	21
35	926	23
40	1,000	25
45	1,074	27
50	1,148	29
55	1,222	31
60	1,276	32
65	1,318	33
70	1,360	34
75	1,402	35
80	1,444	36
85	1,460	37
90	1,476	37
95	1,491	37
100	1,507	38

散布例

40×100m圃場を  
 15km/時、2往復で散布  
 (散布距離:80m×4=320m)



吐出量=1,250g/分



ポリウム=57  
 (1,244g/分)

※投下すぎないように、希望の吐出量  
 以下になるように設定してください。

※インペラを装着していない状態で測定した場合

機 体 ; ■ ZionAC940, MMC940AC, ZionAC1500, MMC1500AC  
 散布装置 ; ■ ZIN700P, ZIN1400G, ZIN1400P (旧エンルート, 丸山)

最大積載量 ● ZIN700P : 70a分 ● ZIN1400G : 1.2ha分

□ ZIN700P, ZIN1400G

開度	吐出量g/分	面積換算a/分
3.6	444	11
3.7	475	12
3.8	506	13
3.9	538	13
4.0	569	14
4.1	600	15
4.2	631	16
4.3	663	17
4.4	694	17
4.5	725	18
4.6	756	19
4.7	788	20
4.8	819	20
4.9	850	21
5.0	881	22

散布例

40×100m圃場を  
 15km/時、3往復で散布  
 (散布距離:80m×6= 480m)



吐出量=833g/分



開度=4.8  
 (819g/分)

※投下すぎないように、希望の吐出量  
 以下になるように設定してください。

※インペラを装着していない状態で測定した場合

# エア一粒剤 散布事例

ドローン散布には、「**エア一粒剤**」がおすすめ!  
その省力性は、オペレーター様からも認められています。

2019年 鹿児島県農業開発総合センター大隅支場 鹿児島県伊佐市  
耕種概要：6/17 移植  
6/19 マーシェットジャンボ処理  
7/11 アルテア中後期エア一粒剤、1キロ粒剤処理  
8/1 調査  
圃場規模：エア一粒剤…28a(29×98m)  
1キロ粒剤…31a(31×98m)  
機種：MG-1K  
設定/作業時間：右表  
処理時雑草：発生なし  
効果：両剤ともに雑草なし

	エア一粒剤	1キロ粒剤
飛行高度(m)	2	2
飛行速度(km/時)	10	15
シャッター開度(%)	35	20
インペラ回転数(rpm)	600	1,200
モード	M	M+
散布方法(往復回数)	1	3
作業時間 <sup>*</sup> (分/圃場)	2.89	5.51
作業時間 <sup>*</sup> (分/ha)	<b>10.3</b>	17.8
作業人数(人)	2	2

## オペレーター様のご感想

1キロ粒剤と比べて往復回数が少なく、  
散布幅を気にする必要もないので  
作業が楽だった。

※薬剤投入などの準備作業含む

## ■ ゲバードエア一粒剤の適用雑草と使用方法 † 本剤及び、それぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数 <sup>†</sup>
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草	移植後14日 ～ノビエ4葉期 ただし、 収穫60日前まで	400g/10a	湛水散布 湛水周縁散布 又は 無人航空機 による散布	本剤 1回 タイムロン剤 3回以内 (育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内) ピラクロニル剤 2回以内 ベンゾビシクロン剤 3回以内 メタゾスルフロン剤 2回以内
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ、ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期 ～ノビエ4葉期 ただし、 収穫60日前まで			本剤 1回 タイムロン剤 2回以内 ピラクロニル剤 2回以内 ベンゾビシクロン剤 3回以内 メタゾスルフロン剤 2回以内

\*1:登録は花茎20cmまでですが、安定した効果のため10cmまでの使用をお勧めします。  
\*2:登録は草丈30cmまでですが、安定した効果のため10cmまでの使用をお勧めします。

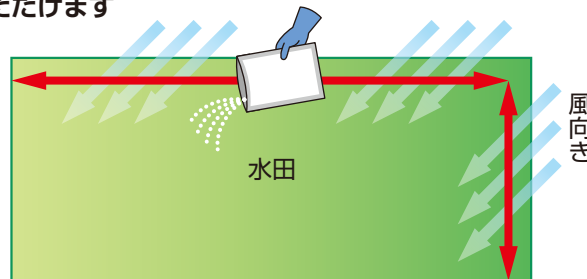
## ■ 各種雑草の散布適期

雑草名	散布適期
ノビエ	4葉期まで
コナギ	6葉期まで
ホタルイ	花茎10cmまで <sup>*1</sup>
ウリカワ	4葉期まで
ミズガヤツリ	5葉期まで
ヒルムシロ	発生盛期まで
セリ	再生期まで
オモダカ	矢尻葉3葉期まで
クログワイ	草丈30cmまで
コウキヤガラ	
シズイ	草丈10cmまで <sup>*2</sup>

## ■ 湛水周縁散布でもご使用いただけます

風上側の畦畔2辺に撒くだけで、  
除草ができます(周縁散布)。

※薬類・ウキクサ等のある場所への  
散布は避けてください。



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2025年3月現在の登録内容に基づいています。



## 日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号  
ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>  
お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)

GEP-APR7A